

## 第2学年 算数科学習指導案

### 1 単元名 「三角形と四角形」(3/11時)

### 2 単元について

第1学年では、かどが丸いものや直線で囲まれていないものを区別せず「さんかく」「しかく」と言い、形を全体的に捉える見方を学習してきた。第2学年では、図形を構成する辺や頂点の数、直角などの要素に着目し、基礎となる図形について理解できるように指導する。

### 3 児童の実態

2年1組は、算数の学習に苦手意識をもっている児童が多くいる。特に、根拠を明確にして考える力が弱く、言語化して説明することも難しい。そのため、新しい学習をする際は、単元において重要な言葉を繰り返し使っていくなどして指導していきたい。また、言葉だけでの説明で終わるのではなく、実物を触って確かめるなど、学びを実感する活動も取り入れていきたい。

### 4 本時のねらい

定義に基づいて、三角形か四角形かを弁別し、理由を説明することができる。

### 5 本時の展開【本時に活用する学び:「三角形」、「四角形」の用語とそれらの定義、構成要素(辺, 頂点)】

	学習活動	指導・援助
つ か む	1 既習の確認をする。 <b>①【三角形】</b> 3本の直線で囲まれている。 <b>【四角形】</b> 4本の直線で囲まれている。 <b>②</b> 「へん」と「ちょう点」の用語の確認をする。 2 問題を確認する。 3 課題の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体で辺や頂点を表現させながら既習の確認をする。</li> <li>・ものさしで、直線を確認する。</li> </ul>
考 え る	三角形や 四角形と いえる わけを せつめいしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板に、前時のまとめを示しておく。</li> <li>・教科書に、三角形や四角形といえるものには○、いえないものには×をつける。</li> </ul>
深 め る	4 教科書の問題の中から、三角形や四角形といえるものと、そうでないものに分ける。(個人→全体) 5 三角形や四角形といえない理由と、どうすれば三角形や四角形になるかを考える。(ペア⇄全体) <ul style="list-style-type: none"> <li>・⑤は、直線でないところがある。全部の線が直線であれば三角形といえる。</li> <li>・⑥は、直線が離れているところがある。離れているところを、くっつけると、3本の直線で囲まれていることになるから、三角形といえる。</li> <li>・⑦は、角が丸くなっているから、3本の直線で囲まれていない。全部の線が直線だと三角形といえる。</li> <li>・⑧は、5本の直線で囲まれているから、三角形や四角形とはいえない。</li> <li>・⑨は、3本の直線で囲まれているから、三角形といえる。</li> <li>・⑩と⑪は、4本の直線で囲まれているから、四角形といえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っているペアにヒントを出す。</li> <li>・体で辺や頂点を表現させ、三角形・四角形の定義と結びつける。また、言語化につなげる。</li> <li>・⑤については、ものさしを用いて、直線になっていない部分があることを目で確かめる。</li> </ul>
ま と め る	6 学習のまとめをする。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             3本や 4本の 直線で かこまれた かたち だから。           </div> 7 本時の学びを確かめる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 p 128 の旗問題 2 を全体で確かめる。</li> <li>・GIFU ウェブラーニング「きょうのもんだい」に取り組む。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>◆評価規準</b>            (思考・判断・表現)            定義に基づいて、三角形か四角形かを弁別し、理由を説明することができる。         </div>